

新年のご挨拶



公益社団法人 高知県看護協会
会長 森下 安子

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

また、日ごろは当協会事業の推進にご支援・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、少子高齢化の進行や医療ニーズの多様化により、看護職を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、特に人材不足は本県において喫緊の課題となっております。また、分娩のできる施設の減少などにより安心して子どもを産み育てる環境の整備も大きな課題です。そのため、新たな取り組みとして、高知県の妊産婦が安全・安心に出産・育児ができるための持続可能な周産期医療体制を構築するため、助産師の役割拡大と助産実践能力の向上を目的とした「アドバンス助産師育成研修」を実施しました。また、ナースセンターでは、看護人材の不足が深刻な中山間地域の医療機関への短期就労をマッチングする「こうち看護応援隊」の取り組みをスタートしています。今年も、高知県の保健・医療・福祉の課題解決に向け、取り組んでいきたいと考えております。

昨年6月、日本看護協会は「看護の将来ビジョン 2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を公表しました。このビジョンにおいて、「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を全世代にそしてあらゆる場に提供するための基盤として、看護職の“ウェルビーイング”を位置づけています。看護職も生活者であり、個人の生活や心身の健康が成り立つこそ、専門性が向上し、心身ともに充実して働き続けることができます。今後も、日本看護協会及び関係機関との連携を図り、日々の看護実践にやりがいを実感できるよう取り組みを継続してまいります。

また、当協会は、これからも急性期から慢性期、在宅、小児、高齢者などさまざまな対象者や場において、看護の役割を自立して発揮する看護人材の育成に向けた研修事業等を行ってまいります。本年も会員の皆様にご協力を頂きながら事業を進めてまいりたいと思います。引き続きよろしくごお願い申し上げます。

今年は、丙午の年です。丙午の「丙」は陽の気が極まり物事が大きく成長することを、「午」は活力と前進を象徴すると言われております。本年が、県内の看護職の皆さまにとって、力強く歩みを進める一年となりますよう祈念し、挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。